

救急医療機能の充実

高度救命救急センターとしての使命を果たし、 大学病院としての教育機能を充実。

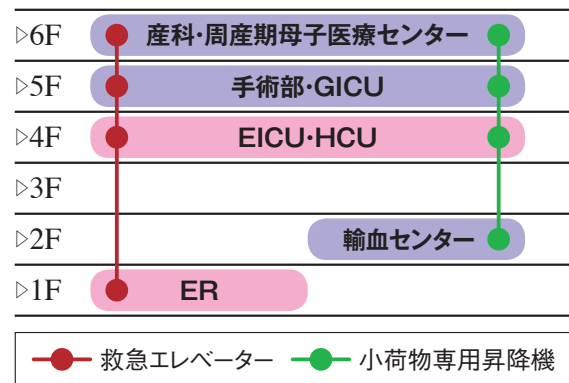
高度救命救急センター(3次救急)の機能強化

当院は、愛知県内唯一の高度救命救急センターで、ドクターヘリの基地病院でもあります。県内救急医療のリーダーの立場に位置付けられ、重症外傷、脳卒中、急性心筋

梗塞などの重篤な救急患者さんを受け入れています。新病院では、これらの当院の置かれた立場を十分認識し、さらに強化を進めます。

- 1階の高度救命救急センターER(救急外来)から4階のEICU、HCU、5階の手術部、GICU、6階の産科、周産期母子医療センターへは、専用の救急エレベーターで直接繋がり、スムーズかつ速やかな患者さんの搬送が可能です。
- EICU、手術部、GICU、産科へは、小荷物専用昇降機を使って、輸血センターから血液製剤などを搬送します。
- EICUは、2床増床し、12床としました。救急患者さんの受入れキャパシティを増やすことで、地域の要請にお応えします。
- 3次救急を担当する当センターと1次、2次救急担当のプライマリケアセンターを隣接配置し、連携を密にしつつ、総合的に救急医療の充実を図ります。

救急関連部門の断面構成図



プライマリケアセンター(1次・2次救急)の充実

当院は、特定機能病院として、紹介や専門診療を必要とする患者さん中心の診療体制をめざしていますが、実際に

は、紹介状をお持ちでない患者さんも多数来院されます。プライマリケアセンターはそのような患者さんに対応します。

外来診療の効率化

- プライマリケアセンターでは、紹介状や予約の無い患者さんを診療します。症状や病状を見極め、適切に各診療科や地域医療機関へ紹介します。また複数の問題をかかえた患者さんや受診科が分からない患者さんも担当します。
- 総合診療科、感染症科の医師が中心となり、必要に応じて各診療科と連携して診療します。また総合診療科への紹介患者さんの診療も行います。

救急医療の円滑化

- 診療時間外には、救急外来としての役割を担います。救急担当医が初期対応。救急車以外で来院された全ての患者さんを診療します。
- 救急車搬送患者さんは高度救命救急センターが受け入れますが、重症患者さんの対応を円滑に行うために、帰宅可能な軽症患者さんはプライマリケアセンターで診療します。高度救命救急センターとプライマリケアセンターは隣接しており、連携を取り合うことで救急医療の充実を図ります。

医学教育の充実

- プライマリケアセンターでは、幅広い領域の疾患に対応することをめざしています。学生や研修医が臨床実習や卒業後の初期研修を通じて、臨床医として必要な、基本的な診療能力を習得する環境(学生教育、研修医教育の場)を築きます。
- 患者さんを全人的・総合的に診る意識を持った医師の育成に努めます。また、病院総合医や家庭医を育成するためのプログラムも検討していくこととしています。